

令和6年度 青梅市立新町中学校 第2学年 社会 年間指導計画 【指導者】松本 敦史

使用教科書 『中学生の地理 世界の姿と日本の国土』(帝国書院) 『中学社会 歴史 未来をひらく』(教育出版)

学期	月	単元名と学習内容	評価規準 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	主な評価方法
1	4	【地理】 第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色(14)	①地球儀や地図帳を活用し、日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し、理解している。 ②日本の地域構成の特色について、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、地球儀や地図帳などを活用し、その特色や課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト 課題の提出 授業中の観察
	5 6	第3章 日本の諸地域(24) ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方	①九州、中国四国、近畿、中部地方の諸地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ②九州、中国四国、近畿、中部地方の諸地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ③九州、中国四国、近畿、中部地方の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	7	第3章 日本の諸地域(18) ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	①関東、東北、北海道地方の諸地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ②関東、東北、北海道地方の諸地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ③関東、東北、北海道地方の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
2	8 9	第4章 身近な地域の調査(5)	①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解し、地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 ②地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	10 11 12	【歴史】 第4章 近世の日本と世界(22) 1節 結びつく世界との出会い 2節 天下統一への歩み 3節 幕藩体制の確立と鎖国 4節 経済の成長と幕政の改革	①ヨーロッパ人來航から織田信長・豊臣秀吉による統一事業、江戸幕府の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、中世から近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ②中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
	1	第5章 日本の近代化と国際社会(10) 1節 近代世界の確立とアジア 2節 開国と幕府政治の終わり	①近代世界のできごとや人物に関する基本的な事項を理解している。 ②アジアと諸外国との関係を背景にして、近代世界の特色を多面的、多角的に考察し、表現している。 ③欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。	
3	2 3	第5章 日本の近代化と国際社会(12) 3節 明治維新と立憲国家への歩み 4節 激動する東アジアと日清・日露戦争 5節 近代の産業と文化の発展	①開国とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、近代のできごとや人物に関する基本的な事項を理解している。 ②諸外国との関係を背景にして、富国強兵・殖産興業政策等の近代の特色を多面的、多角的に考察している。 ③近代の歴史の流れについて関心を持ち、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。	